

三豊市少年少女発明クラブで「電波教室(ラジオを作ろう!)」を開催

- 令和7年9月13日(土)に電波を身近に感じていただき、ルールを守って電波を適正に利用することの必要性を理解してもらうことを目的として、「電波教室(ラジオを作ろう!)」を国立香川高等専門学校詫間キャンパス(香川県三豊市)で開催しました。
- 電波教室には、三豊市少年少女発明クラブの小学生と中学生の30名とその保護者が参加し、電波の学習教材により電波のルールを学びました。その後、ラジオキット(AM・FM兼用)を組み立てて、電波への興味や関心を深めました。

学習ビデオ視聴後に電波適正利用推進員から、工具の使い方、基盤に部品を取り付ける順番やハンダ付けのテクニックの説明があり、説明のあったとおりの順序で組み立てが始まりました。

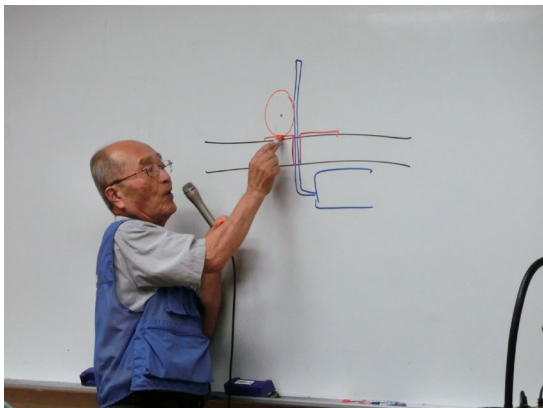
参加者は初めて見る小さな部品に戸惑いながらも、保護者や電波適正利用推進員からの応援を受けて、慣れない手つきで小さな部品を差し込み慎重にハンダを付けました。

組み立てが終わると、組み立てが間違っていないか推進員の確認を受け、電池を入れてダイヤルを回して放送局を探し出し、イヤホンから音声聞こえるとあちこちから歓声が上がりました。

<学習ビデオの視聴>



<ハンダ付けの説明>



<部品の取り付け>



参加者からは、「電波の大切さが分かった。」、「いろいろな所で電波が使われているのが、よく分かった。」、「自分が組み立てたラジオから音が聞こえて、うれしかった。」などの感想が寄せられました。

四国総合通信局は、今後も電波教室などの開催を通じて電波を身近に感じていただき、適正に使っていただく活動を推進してまいります。

(お問い合わせ先)

電波監理部 電波利用環境課(電話 089-936-5055)